

九月議会開催される

浜田市政

公約着実に推進

九月定例市議会は十三日から二十七日までの十五日間開催され、福田・竹内・山本・高島・吉村・今西・土居・山崎・田島・紀伊・池本・小沢・西岡・澤田の十四氏が質問に立ち、浜田市長の政治姿勢や重要プロジェクトへの取り組みなどについて、活発な質問戦がありました。

一般質問のあらましを、お知らせします。

保などを地域振興公団と県、市が協力して進めていきます。公園事業および緑地化など、オフィスパーク全体が緑と憩いの場となるよう進めます。就労する若者の定住策としては、民間の賃貸住宅の建設誘発なども含め、住宅マスタープランの策定を急いでいきます。余暇の過ごし方も重要であり、テレビの多チャンネル化などについても研究していきます。

平成九年度以降、国体対策の「体育館などの施設の建設や整備」「一般廃棄物の最終処分場の建設」「後免町再開発事業」などがあります。これらの大型事業実施のために新規の財源を求めて企業誘致予算の配分の見直しなど行政改革大綱に沿って実行していきます。

市民サービスを低下させることなく、懸案事業を実施しながら、投機的事業にも柔軟に対応できるよう運営していきます。

市長公約の実績について

市民に開かれた市政の実現などについて具体的に取組

造成工事・調整池などが完成し、取り合わせ道路・橋梁工事などを順次発注するなど年次計画に沿って整備が進んでいます。地元対策として水路・市道の整備、通学路の確



大型プロジェクトの実施とその財源措置、行政改革について

オフィスパークへの企業進出は、順調に進んでいます。

順次整備していきます。監査機能の強化は、地方分権の推進に伴う地方制度の改革の中で対応します。

環境行政について

平成九年度から施行される容器包装リサイクル法に沿って「実施計画」を策定しました。「ゴミの排出抑制、リサイクル」を基本とした地域社会づくり、全ての関係者が一体となった取り組みによる「環境負荷の低減」「大量消費・大量廃棄」のライフスタイルの見直しなどです。

保育行政について

子育て支援については、そのコストを削減し効率をよくしたいと考えています。保育行政全般について保育所問題



コスモスの花がいっぱい 長岡東部保育所 長岡国木スナーク

中山間事業、農業振興対策について

北部地域に、山村振興法により、地域生活基盤交通網などの整備を実施してきました。新たに活性化を目指した新規事業を導入したいと考えています。

観光につながる事業や体験農園、地場産品の直販施設の設置や、キジの養殖などの事業案もあり地元の方々の気をばねに強気で対応したいと考えています。

農業振興は、流通や後継者の問題、価格の低迷など困難な問題もありますが、消費者の要請にこたえ、国際競争力、産地間競争にいかに対応するか、価格や安全性・鮮度保持などの対策を推進します。

集落の近代化や道路網の整備、施設園芸の振興策、集出荷のコストダウン・省力化を進め、生きがいと働きがいがある「若者に魅力のある事業」を実施します。

農業は、食糧生産のみならず、県土の保持・環境・景観の維持・伝統文化を守ることなどを合わせ持つ多面的産業という認識を広く市民に理解してもらえよう努力します。

「舟券売り場に断！」

市民の中に「誘致」と「反対」の両方の意見があった明見地区での丸亀市の製鉄、遠外舟券売場建設問題は、九月二十日夜、浜田市長を訪問した丸亀市から「進出しない」旨の発言があり結論がでました。赤間町で実施されている臨門製鉄の遠外舟券売場のこの場合なごもあり、営業的に難しく今後も、開設の可能性はないようです。



んできました。情報公開条例の制定・指名基準の公表・請負業者指名停止要綱などを制定しました。継続中の事業も困難なものもありますが、おおむね順調に進んでいます。

体育施設・運動広場などは、国体開催に向け

都市計画事業について

後免町再開発は、実施可能な事業推進計画を策定して

ます。公共公益による保留床の処分への県の参画を検討しています。都計街路・高知南国線は、現年予算が不足し国へ追加要望しました。進捗状況は面積五十三、事業費四十三割となっています。吾間山文化の森

空港再拡張について

県勢浮揚の大きな瓦地から、再拡張を目指しています。地権者の農業経営への影響やその他の周辺住民に対しても、不安のないよう市民の側に立ち対応します。

公園整備事業は、居間広場や市民広場に着手します。

周辺住民から県・市に出されている要望は、導入可能な補正事業などを調査中です。この結果を基に事業内容・対象範囲・財源などを県と協議します。